

# 根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園：湿地の観察会(2012/8/9 実施)～

2012/8/26 文責/編集:相澤

参加者：相澤、市川、西澤、三井、山田（洋）

これまで『根木内歴史公園：湿地の観察会報告』とかたい題名で報告を書いてきましたが、『根っ子の会の観察日記』とリニューアルしてみました。いつものごとく、みなさんの感想などをもとに、観察日記としてまとめたものを紹介していきたいと思います。

## ◇気候・風景・印象

風の通りが良く、真夏にしては涼しく、観察しやすい日となりました。池にはざりがに、蚊だやし、おたまじゃくし（うしがえる）、こいやどじょうまで、いっぱい、にぎわっていました。



排水によって姿を現したドジョウ

強い陽射しをあびて汗を流しながらの観察会でしたが、日陰に入ると吹いてくる風が心地よく、ほっと一息つくことができました。池のまわりはザリガニつりの親子でにぎわっています。池の水を落としており、浅くなった水底にはザリガニ、カダヤシがうじゃうじゃ。おまけにドジョウまでいたのに驚きました。誰かが入れたとのことです。（お祭りのもの?）

## ◇観察記

### 田んぼ(イネ)



田んぼの稲はすくと葉をのぼし、出穂もはじまっていました。それらの穂をじっくり眺めてみると、確かにお米の形をした粒が縦列にならなっていました。コゴメカヤツリやコゴメイなんかのコゴメも形がお米に似ているからついたのかしら。稲の根元部分にはトノサマバッタとかショウリョウバッタの大きなのや、他にも虫たちが止まっていました。観察する我々は「お～いるいる」と見つけてよろこんでいるけれど、米づくりのお百姓さんにとっては稲をたべる害虫になるのでしょうか。

### マスクサで相性チェック

カヤツリグサ科スゲ属で別名マスクサスゲ。名前の由来は、下図のように茎を両端から割くと柘形(たけがた)の四角形ができることからついた。昔から“相性チェックの遊び”として男女間で試されたと聞かすが、実際にやってみると失敗の連続でむつかしかった。右下写真はの相性チェックの成功例。



### ヘラオモダカのとね

オモダカ科サジオモダカ属。葉が匙(し)のようなサジオモダカに対して、葉が篋(へら)のような形なのでヘラオモダカと名前がつけられた。花期は7~10月。花は直径が1センチで散形状。花が終わった後、瘦果は写真のように薄っぺらなタネがスライドのプロジェクターのように輪状にぎっしり詰まっていることを初めて知った。

虫めがねを使って皆で観察。ひとつひとつの種子(右下)は縦の長さが2mmくらい。細かい観察からの大きな感心でした。



## ◇生きもの

### マコモ

今年はマコモの成長が著しいように思います。先月にも見られた花は、ひきつづき青空に向かって伸びています。開きはじめての緑色の穂に白いモヤモヤがゆれているのは雌花、ぐんと空にむかってのびているのは雄花か。穂は全体に紫色をしています。



### アリアケスマレ(閉鎖花)



川側湿地ではアリアケスマレの株がたくさん見られました。閉鎖花なのかツボミのような形のものをつけていました。来春が楽しみです。

春に美しい花を楽しませてくれたアリアケスマレを久しぶりに見たら、葉が大きく形も三角形に近いようになって、いくつもの大きな実を付けてました。スマレには、春の見慣れたきれいな花のほか、開かないで自家受粉する閉鎖花があるそうですが、今の時期の実、閉鎖花でできたものです。可憐な植物ですが、とてもたくましく生きているものだと感心します。

### シロオビトリノフンダマシ

虫はかせの時、オギ原にゾウムシがいないかなと覗いていたら見つけました。クモのトリノフンダマシの仲間です。柄澤先生に聞くと、すぐに『シロオビトリノフンダマシ』と教えてくれました。この辺では珍しいとのこと。昼間はこうやって葉の裏などでじっとしていますが、夜中には地面に平行に直径1mにもなるものすごく大きな巣を張るそうで、その姿を一度見てみたいと前から思っていたのでした。



### カヤツリグサ科の植物

カヤツリグサ、コゴメガヤツリ、アゼガヤツリ、タマガヤツリ。カヤツリ草系が元気になりだしました。存在を主張するかのよう、草むらのなかでパツツと穂をひらいていました。来月はもっとしっかり見られるかな。



左上:カヤツリグサ、右上:コゴメガヤツリ、左下、タマガヤツリ、右下:アゼガヤツリ  
今回紹介の、マスキサ、マツカサススキもカヤツリグサ科です。

### マツカサススキ

先月の観察会では全く気が付かなかったのに、今月は沢山の丸い花穂を付けて湿地の所々に目立ってました。周りの草よりも一段と高く伸びてることが多いので目に付きやすいです。

日当たりのよい湿地に生える高さ1～1.5m位になるカヤツリグサ科の多年草で丸い花穂を松笠に見立てたそうです。

この公園では、毎年少しずつ増えてる様な気がします。





### カラスウリ

カラスウリ、夕べはきっと美しく咲いていたんだろうなと思われる閉じた白い花。

すでに丸いウリボウがぶらさがっているものもありました。今はきれいな緑色ですが、これが真っ赤になるころには、涼風ならぬ冷たい北風がふきぬけていることでしょう。

### ショウリョウバッタ

ハンノキ島に現れた巨大なバッタ。ショウリョウバッタとオンブバッタは似ているということですが、これだけ大きくなるのはショウリョウバッタだけだそうです。しかし、ショウリョウバッタモドキなる種もいるとか。ショウリョウバッタモドキは、頭がとがっているそうです。写真の種は、とがっているのか、とがっていないのか？



根木内歴史公園の湿地の観察会は毎月第2火曜日に行っています。9月は11日(火)に行います(予備日は12日(水))。9:30に公園駐車場に集合で、昼まで観察を行い公園内で昼食を食べます。残暑が厳しい場合もありますので、まだまだ熱中症対策が必要そうです。

お問い合わせ(千葉大・相澤)

E-mail: [akihitoaizawa@gmail.com](mailto:akihitoaizawa@gmail.com)